

評価指標の小項目の補足説明

項目名	内容	補足説明（小金井市の視点）
①-1-1 骨格幹線道路網の形成	骨格幹線道路網への位置づけがある道路	小金井市都市計画マスタープラン（以下「都市マス」）の広域幹線道路に位置づけている都市計画道路（都市マス概要版 P8 参照）を骨格幹線道路と言います。市内では、五日市街道、東八道路、新小金井街道です。
①-1-2 都市間ネットワークの形成	周辺自治体へアクセスする道路	隣接市に繋がっている都市計画道路を言います。 具体的には、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小平市、国分寺市、西東京市に繋がり、ネットワークが形成されます。
①-1-3 円滑な物流の確保	物流拠点へアクセスする道路	港湾や圏央道周辺等の物流拠点を想定しています。 市内には物流拠点はありますが、物流拠点に繋がることで、SNS の普及による物流ニーズの多様化に対応できます。
①-1-4 交通処理機能の確保	将来交通量の推計とネットワークの検証	多様な交通需要に対応するため、将来の交通量が 6,000 台以上となる区間の道路を整備することにより、円滑な通行ができるようになります。
①-2-1 救急医療施設へのアクセス向上	幹線道路と救急告示医療機関等の最短経路となる路線	医療拠点病院等（小金井太陽病院や桜町病院など）や第二次・三次医療施設（市内には無いため近隣市の各々の近い病院）への到着時間が短縮されます。
①-2-2 交通結節点へのアクセス向上	武蔵小金井駅、東小金井駅、新小金井駅の駅周辺等へのアクセス向上	交通結節点とは、駅やバスターミナルなどを言います。 市内の駅では、武蔵小金井駅、東小金井駅、新小金井駅があり、駅周辺へのアクセスが向上します。
①-2-3 避難場所へのアクセス向上	広域避難場所、一時避難場所に接続する路線	広域避難場所（小金井公園、武蔵野公園、東京学芸大学、東京農工大学、多磨霊園）や一時避難場所（市内小学校、中学校など）に繋がり、迅速かつ安全に避難できます。
②-1-1 都市環境の保全	環境負荷の低減、周辺道路の渋滞の解消に寄与	渋滞箇所における渋滞がなくなることで、自動車がスムーズに走ることができ、二酸化炭素の排出量が減ります。 市内では、前原坂上や前原交番前交差点等で渋滞が発生しています。
②-1-2 良好な都市空間の創出	みどりの拠点に接続する路線の整備による良好な都市空間の創出	都市マスで位置づけている、みどりの拠点（小金井公園、武蔵野公園などの大規模公園や大学）（都市マス概要版 P10 参照）に繋がることで、連続したみどりのネットワークが形成され、良好な都市空間が生まれます。
②-1-3 公共交通の導入空間	公共交通不便地域の解消に寄与	公共交通不便地域とは、駅やバス停から一定の距離以上離れている地域を言います。 新規のバス路線の可能性や、新しいモビリティが出てきた場合に対応が可能となる空間が生まれます。

項目名	内容	補足説明（小金井市の視点）
②-2-1 緊急輸送道路の拡充	緊急輸送道路になり得る路線	緊急輸送道路とは、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路を言います。 市内では、五日市街道、東八道路、新小金井街道、小金井街道、連雀通りです。
②-2-2 延焼遮断帯の形成	延焼遮断帯に位置づけられている道路	延焼遮断帯とは、地震による市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川等と沿道の耐火建築物等により構成される帯状の不燃空間を言います。 市内では、都市マスで位置づけている延焼遮断帯（都市マス概要版 P12 参照）を言います。
②-2-3 災害時の代替機能	土砂災害に強い都市構造の実現に寄与する代替機能路線	土砂災害警戒区域（市内では国分寺崖線の一部の区域に指定されています）において、がけ崩れなどにより道路が閉鎖された場合に、その道路に代わる都市計画道路があれば、災害に強い都市構造が実現できます。
③-1-1 都市の多彩な魅力の演出・発信	観光拠点などにアクセスする道路	小金井公園内の江戸東京たてもの園や神社仏閣、文化財などの観光スポットにアクセスしやすくなります。
③-1-2 生活空間機能の確保	バリアフリー法に基づく福祉施設等に接続する道路	福祉施設等とは、特別支援学校、病院又は診療所、老人ホームなどや、市役所などの官公庁施設を言います。そこに接続する都市計画道路が出来れば安心して、安全に行くことができます。
③-1-3 生活道路の安全性向上	スクールゾーンや抜け道となる生活道路の近傍の道路	スクールゾーンに指定されているエリアや、時間規制がされているエリアでは、通過交通を抑制する必要があります。 それらのエリアを通る都市計画道路が整備されれば、生活道路への通過車両が少なくなります。
③-2-1 都市骨格機能	中心拠点等のエリア内に接する路線	中心拠点等（都市マス概要版 P6 参照）とは、駅周辺や商店街周辺を言います。 拠点に接続することで、人が集まりやすくなり、にぎわい創出や滞留空間が生まれます。
③-2-2 街区形成機能	木造住宅密集地域等を通る路線	木造住宅密集地域とは、震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域を言います。 市内では、東町の一部地域や本町の一部地域に指定されています。
③-2-3 まちづくりへの貢献	地域のまちづくりと一体となる道路	武蔵小金井駅北口での再開発事業や東小金井駅北口での土地区画整理事業など、まちづくりと一体となって整備する道路を言います。